

＜第4回 若林地域会議 会議録＞

日 時 令和6年7月26日（金） 19:00～20:45
場 所 若林交流館 多目的ホール
出席者 委 員 16名
事務局 中野副支所長、川合主査、倉地主事
オブザーバー 太田市議

1 会長あいさつ（省略）

2 報告事項

（1）第3回若林地域会議会議録について

高岡支所より報告

- ・口座振込依頼書の提出依頼
- ・カレンダー作成打合せ8月中に実施依頼

（2）諮問答申に対する回答について

高岡支所より報告

- ・前年度答申内容に対する回答報告
- ・第9次総合計画の中間案を報告

（3）高岡4地域防災力向上事業について

高岡支所より報告

- ・防災サポーター養成講座の概要について報告

〈委 員〉若林の地区区長会は8月末になるため、その時に依頼されると9月に回覧できない。

〈事務局〉4自治区なので、個別で対応する等して間に合うよう調整する。

（4）マイタウンおいでん高岡 開催報告について

〈委 員〉アンケートの内容をもう少し濃くしてほしい。「WRCに行きたいと思いませんか？」のような質問があると良いのではないか。

〈事務局〉今後の参考にする。

3 協議事項

（1）地域課題解決事業ワーキング

高岡支所より説明

- ・来年度の提言をやめ、防災対策事業の充実化について議論することに決定。
- ・来年度の予算確保に向けて、新規事業について議論

〈委 員〉地域会議の今後の計画が見えないので、今後の計画を見せてほしい。

〈事務局〉10月以降の協議内容についてはまだ計画できていない。令和7年度に実施する内容については9月までに結論を出す必要があるが、令和8年度に実施する内容であれば、それ以降でもよい。

〈委員〉例えばどんな内容であれば令和８年度に実施する内容になるのか。

〈事務局〉令和８年度に実施すべき内容というものは本来ないと思う。災害はいつ起こるかわからないので、できる時期にできる対策を打つ必要があると思う。そのために今できることはなにか考えるというのは今回の協議事項である。

〈委員〉いつやるのかということより、どのようにやるのかが重要ではないか。

〈委員〉あくまでも地域会議は実行部隊ではない。「諮問答申」「提言」をする組織である。防災サポーター養成講座のような事業を作成し、予算化することを考えてほしい。今年度からの新任委員は提言内容を知らないなので、なかなか意見をするのが難しいと思う。多世代交流については、具体的な案は出ていない。各自治区に自主防災会はあるが、横のつながりを持っていない。今回は現状の防災に対する課題を基本に、どのように防災意識の向上を図るかを議論してもらいたい。

〈委員〉今回はなにをベースに議論をすればよいのか。

〈事務局〉第２回の地域会議で提言書等の資料を配布している。また、若林まちづくりビジョンにも防災に対する課題が記載されているので、そういったものも参考にしてほしい。

OA グループ「こどもを巻き込める防災イベントの開催」

こどもを巻き込めるイベントの開催を実施してはどうか。親子で力を合わせることができる避難所運営ゲーム等をする。ただ、防災イベントというだけでは集客力に欠けるので、有名人を呼びたい。

OB グループ「自治区回覧を活用した防災情報発信」

想定される災害は地震。現状は意識の向上が見られない理由として、身近で地震が起きていないことが要因ではないか。防災を身近なものにするために、自治区回覧を活用して、防災隊長からの豆知識みたいなものが発信できれば良いのではないか。

OC グループ「こども向けの防災講習会の開催」

防災講習会を開催しても、防災意識が高い人しか集まって来ないため、興味関心がない人向けに発信する必要がある。小学５年生は１年間防災について勉強し、グループで発表会を行う場がある。そのときに家具転倒防止講習等ができれば、こどもから家族へ情報が伝播していくのではないか。

〈委員〉防サイ君を各支所で購入して、いつでも体験できるようにできないか。

〈事務局〉購入は難しいため、より体験できる機会を増やす取り組みとして名古屋大学の減災館へのバスツアーを計画している。

★次回開催

第５回定例会：令和６年８月２３日（金）午後７時から 場所：若林交流館多目的ホール